

(会議の経過) 第1回こども指針(仮称)策定・検討部会会議録

発言者	議題・発言内容
委員	<p>※部会長、副部会長の選任。部会長については、全体会議の会長、副会長とし、この部会は横川会長とすることです承。副部会長は、互選により勝部委員とする。</p> <p>初回ということで、今まで3回全体会議をやってきた中で感じたことなどあれば話をしてみてもどうか。</p>
委員	<p>この部会は、まず全委員で集まって会議の後、部会ごとの部屋に分かれてのイメージで思っていた。</p>
委員	<p>部会で決まったことは、基本的に全体会で変わってしまうものではないと思う。教育委員会から案が出て、全体会で議論があって、その後に部会と思っていた。この部会だけで指針を作れと言われると不安なところと、やらないといけないという気持ちが入り混じっている。議事録も残るし、さっくばらん意見も出しづらいと感じる部分がある。</p>
委員	<p>今までの会議は、傍聴の人や記者さんもいて話しづらい雰囲気。今回3つの部会に分かれるという事で、もう少し意見が出し易いかと思っていたが今日のように参加者より教育委員会の方が多いようではな話しづらいと感じる。幼稚園、保育所に勤めたことはあるが、指針といわれると不安な部分がある。保護者の声を聞くと、千種や波賀だけ幼保一元化が進んで、山崎や一宮南などは実施されないのではといった不安がある。特に波賀は給食センターの問題もあり、公立施設が無くなることに過敏なところがある。山崎のように中学校区に民間保育所が多数あり、調整の取りにくいところからかかれ、良いものを作られれば、宍粟市が本気で取り組もうとされている事も理解され、心配されていた千種や波賀の住民も安心して考えられるのではないと思う。</p>
委員	<p>それぞれの立場があり、意見が言いにくいところもあるだろうと思う。これだけのメンバーで指針を決定するのはどうか。部会と全体会をある程度交互にしてはどうか。自身、働く女性として民間保育所に子どもを預け、おじいちゃん、おばあちゃんにも助けてもらった。今、1つの転換期であり、なんらかの選択をしなければいけない時期にきているという気持ちはある。</p>
委員	<p>部会の雰囲気が重々しいように感じる。部会はもっとざっくばらん意見を言える場のつもりだったが。私はPTAの代表の1人として来ているので、現場の人の意見をよく聞いて1つずつ順に整理していかないといけないと思う。民営が前提の話のように思うが、そうなる私立が受けるしわ寄せも大きいと思うので、各地区に公立を1つずつくらい残してもいいかなと思う。</p>
委員	<p>各町、各地域で歴史もあり、特色がある。保護者の就労の変化等により保育所の役割も変わってきた。小学校区のことや祭り等の地域との関わりなど、考えなければならないことは多い。</p>
委員	<p>幼稚園と小学校の連携で、公立同士ではスムーズな入学ができるよう取り組んできている。一宮について言えば、長時間保育が必要な親は保育所しか無理だが、そこまで必要ない働く親は幼稚園のあずかり保育を利用している。幼稚園でも、就労している親とそうでない親があり、行事ごとの頻度などの感じ方にばらつきがある。山崎は預かり保育があつたりなかつたり、幼稚園でも色々あ</p>

	<p>る。資料の4、5歳児の教育の作成に携わったが、教員が使えるように、保護者に伝わるように作った。現在指針は何もない状態であり、もっと早く必要であったと思う。たたき台は教育委員会で示されるのか。</p>
委員 事務局	<p>教育委員会から素案の提示があるものと思っているが。</p>
委員	<p>教育委員会で素案を作り、こういった項目は盛り込まないといけないといったことを部会で協議してもらって、それを全体会へという流れを考えている。</p>
委員	<p>公私に関わらず、宍粟市の就学前の教育・保育に携わる現場の先生方は、質が高く、愛情の深さを感じる。そういった現場の先生方の意見を取り入れることも必要と思う。ただ指針といったものになると、理想と現実があり、選択しなければいけない部分も出てくるだろう。</p>
委員	<p>意見にもあったように、やはり指針がまずないと全体会でも話が進まないところと思う。資料の検討項目についてはどうか。</p>
委員 事務局	<p>事務局で視察等にも行き、資料も集めていると思う。そういったものを持ち寄って、整えていくこともいいと思う。</p>
委員	<p>宍粟市には義務教育の部分の「生き活きプラン」が既にあり、指針はそこにつながるものをと考えている。資料については素案はいくつか集めている。</p>
委員	<p>完成しているものをいくつか見させてもらったことがあるが、どれも完成度が高いと感じた。持ち寄っても、その後どうやって宍粟市版のものにしていくのか難しいところである。</p>
委員 委員	<p>事務局で事前に資料を用意して欲しい。</p>
委員	<p>今までこういった計画を策定して、研修もして実践してきたという土台がない。それぞれの幼児教育をやっている現状。ここで指針もできるだろうが、それを現場に浸透させていくのにはまた時間がかかりかかると思う。どうやって浸透させていくかも含めて検討しないと、市民の理解は得られないと思う。</p>
委員	<p>そこは一番心配な部分で、保護者や地域から不安が出ていたのだから、その（どう浸透させていくかの）部分を含めてきちっと教育委員会から方向性を出してもらわないといけない。幼保一元化、認定こども園の必要性なり方向性については全体会で確認はあったものと思っているので、それがまた戻って1からということにはならないと思う。</p>
委員	<p>認定こども園になってからの難しさというのは、民でやろうと公でやろうとある。</p>
委員	<p>一宮については、幼稚園は預かり保育があり、幼稚園型の認定こども園に近いのではと思う。そこからすると一宮ではどうしても認定こども園が必要であるとは思えないところがある。市内、各地域で色々な事情があることを理解したうえで指針を作らないといけない。</p>
事務局	<p>宍粟市全体を見れば確かに市内では現状で充足している地域もあると思う。ただ、すべての子どもに等しく良質な教育・保育を提供していきたいという目標がある中で、優先順位ということになれば、まず子どもが少ない地域であり、次に地域の理解が得られるかどうか、財政的に可能かどうか、そういったことを総合的に考えて計画を進めていくことになると思う。基本的な部分としては、幼稚園と保育所の機能が1つになって、1つの施設であるものが市が目指しているもの。もちろん課題はあり、それをクリアしていく仕組みについては考えていく必要がある。</p>
委員	<p>認定こども園の必要性については、全体会でも概ね理解が得られたものと考え</p>

	<p>ている。全体のことも議論する必要があると思うが、基本的な部分となるこの指針を出すということはどこかでしておかないと、後の議論が続かないことになる。</p>
事務局	<p>各部会を開催して、進捗状況を見ながら全体会も開催する予定である。指針の完成まで部会でということではない。</p>
委員	<p>事務局の素案をベースにまずたたき台を作っていく。他市町のものの資料の提出もお願いします。全体会もはさみながら指針を作っていくことで進めていく。</p>
事務局	<p>部会の会議の公開、非公開について、今日の発言にもあったが、もっと意見を出しやすい環境で活発な議論をということだったかと思う。部会については、非公開として、会議録については公開とさせていただきたい。 ※了解いただく。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。